佐藤忠暉議員

道路行政

沢田関谷線鉄橋下道路を踏切方式に

踏切新設は困難、道路改修を要望

質問 町では、平成20年度県知事要望項目として、県土整備部河川課に町内2級河川の整備促進について追加要望したいとのことだ。

内容は、「関口川河川改修工事について具体的にＪＲ山田線鉄橋部分を明記し、隣接する鉄橋下道路（町道沢田関谷線）も合わせて改修（桁下確保）要望したい。」というが、この方法では、これまでと同じように桁下に神経を使わなければならないし、大雨時には水害の心配もある。それより、道路を線路の高さまで土盛り工事をすれば、車両の高さを気にしないで通行できると思うがどうか。

沼崎町長 線路の高さに道路を設けようとすれば、新たに踏切が必要となるが、ＪＲは踏切の新設を認めない方針であり、関口川改修事業での道路改修が最善であると考える。この事業は県と河川改修の協議を進める中で示されたもので、町では緊急車両がスムーズに往来できるよう桁下の高さと幅員の確保を要望している。県は、本年度に設計業務委託を予定しているが、着手年度・完成年度は未定であるため、早期整備を積極的に働きかけていく。

県の河川改修（関口川）に合わせて鉄橋下道路改修（桁下確保）を要望している町道沢田関谷線

町の考えを聞く

安全対策

長崎街道踏切の歩道拡張

平成22年度に完了予定

質問 長崎街道の歩道を山田南小学校側からＪＲ山田線踏切に向かって右側を歩くと、踏切近くから踏切と川向町側で歩道がなくなり、遮断機が開閉するたびに、人、押し車、自転車、自動車が交錯して大変危険な毎日が続いている。

ＪＲ東日本盛岡支社との打ち合わせが必要であろうが、長崎街道踏切を拡張して歩道を設置し、歩行者や自転車などがスムーズに通行できるようにしてはどうか。

沼崎町長 長崎街道踏切の拡張については、ご承知のとおり、これまで何度か議員の皆さまから質問を受けている場所である。

町としても現状を憂慮していたことから、県及びＪＲとの協議を進めてきた。

そのかいあって、このたび事業の実施にめどがついた。今後の予定は、平成21年度に設計業務委託を行い、平成22年度に工事着手し、同年度に完了する予定である。